

<平成29年2月17日記者会見 予算概要市長コメント>

平成29年度予算の編成作業が、このほど終了しましたので、その概要についてご説明いたします。

なお、概要には、平成28年度補正予算に計上し、29年度に繰り越した上で実施する事業についても含まれております。（注：補正予算計上事業には下線を付しています。）

予算編成方針では、少子高齢化や、一連の台風被害の復旧などの課題に的確に対応し、「フードバレーとまち」のさらなる展開や第六期総合計画並びに総合戦略の着実な推進などにより、市民が幸せに感じられ、希望にあふれる十勝・帯広をつくっていく必要があるとの考え方にに基づき、

『活力ある地域経済をつくる』

『未来につなげるひとをつくる』

『安全安心に暮らせるまちをつくる』

の3つの重点を設定しました。

編成作業にあたっては、国の経済対策の活用など、平成28年度補正予算と一体的に進めてきたところです。

また、政策・施策評価の結果やサマーヒアリングでの議論等を踏まえ、限られた財源のなか、将来を見据えた事業の選択と集中や施策間の連携を図りながら全庁一丸となって取り組んでまいりました。

その結果、平成29年度予算は、十勝・帯広が有する豊かな資源を活かした地域経済の活性化や、地域の活力ある未来につなげる人材の育成、市民が安全で安心して生活できる暮らしの実現など、未来に向けて、持続的で活力あるまちづくりに必要となる経費を盛り込んだ予算になったと思っております。

それでは、お手元の資料「平成29年度予算重点施策」をご覧ください。

この資料は、予算編成方針でお示した3つの重点に基づき、平成29年度予算を整理したものです。3つの重点に基づく施策は、総合戦略のまち・ひと・しごとの各分野における取り組みと密接に関連しており、一体的に推進していく必要があると考えております。また、3つの重点に基づく施策が相互に連携し、相乗効果を発揮することにより、持続的で活力あるまちづくりを進め、希望の未来に繋げていきたい、という思いを込めています。

では、順次、この資料に沿って、主な事業を中心に説明いたします。

はじめに、『活力ある地域経済をつくる』です。

「産業の振興」につきましては、地域の創業・起業を目指す人材が、持続的に事業創出をできる仕組みづくりに向け、起業家人材の掘り起こしやマッチングなどを行うコーディネーターを配置するなど、十勝・イノベーション・エコシステムの取り組みを推進するほか、豆類の出荷コストの低減や高付加価値化を図るために、受入・製品製造施設の整備費用の一部について支援してまいります。

「交流人口の拡大」につきましては、十勝におけるアウトドア観光の中心的役割を担う（仮称）株式会社十勝アウトドアDMOを設立するほか、公共交通と観光の活性化のための拠点施設として、駅前のバスターミナルの整備をすすめてまいります。また、とち帯広空港の国内路線の充実や国際チャーター便の受入れ体制を強化するために、駐機場の拡張工事を実施してまいります。

「景気対策事業」につきましては、一部平成28年度補正予算を含め、29億3,978万7千円の事業費を計上しました。地域経済の状況は、台風被害の影響等から全体としては足踏み状態にあるとされており、地域経済の活力低下が懸念されることから、国の経済対策を活用するほか、規模や時期などに配慮しながら、一定規模の公共事業や雇用対策事業を実施することが必要であると判断したものであります。

つぎに、『未来につなげるひとをつくる』です。

「少子化対策・子育て支援の充実」につきましては、子育て世代への切れ目の無い支援の実現に向けて、産前産後の相談体制を充実するほか、不育症の治療費について支援してまいります。また、栄保育園の改築費用の一部について支援するほか、児童数の増加に対応するため、川西児童保育センターを増築するなど、保育体制の充実を図ってまいります。

「教育環境の充実」につきましては、各学校において教材備品の整備をすすめるほか、就学援助の支給費目を追加してまいります。また、学校トイレの洋式化などの学校環境の整備をすすめてまいります。

「人材の育成・確保」につきましては、ひとり親家庭の親の自立促進を図るため、母子家庭等自立支援教育訓練給付金の支給対象を拡充するほか、社会生活を営む上で困難を有する若者への支援を充実するために、青少年センターの業務体制を見直し、地域若者サポートステーションとの連携の強化を図ってまいります。

最後に、『安全安心に暮らせるまちをつくる』です。

「災害復旧」、「災害などへの備え」につきましては、昨年の台風により被害を受けた十勝川・札内川河川敷のパークゴルフ場や運動公園を始めとした公共施設等の復旧工事をすすめてまいります。また、今後の災害に備え、防災拠点となる市役所に Wi-Fi 環境を整備するほか、指定避難所の環境整備として、学校体育館のトイレの洋式化をすすめるなど、地域の防災体制の強化を図ってまいります。

「高齢者福祉の充実」につきましては、地域包括ケアの仕組みづくりを推進するため、様々な市民・団体による、介護予防生活支援サービスの提供を開始するほか、高齢者の年齢や健康状態で区分することなく、幅広い高齢者を対象とした介護予防事業を実施してまいります。

「安全安心なまちづくり」につきましては、市民の利活用を促進するために、空家等の対策や住宅リフォーム、新築住宅に対する各種補助制度などの、住宅施策の総合的な見直しを行うほか、民間建築物の耐震化の促進を図ってまいります。

「公共施設等の適切な管理」につきましては、学校施設の長寿命化計画に必要な劣化調査・分析を実施するほか、川西合同庁舎の耐震化等を実施してまいります。

「社会基盤の整備」につきましては、引き続き市民生活に必要な道路、上下水道等を整備してまいります。

「自治体経営の推進」につきましては、地域の魅力発信を通して自主財源を確保するため、帯広市への寄附者に対する返礼品の送付を実施するほか、空港運営の民間委託に必要な準備作業として、基本スキームや実施方針案の作成を行ってまいります。

以上が、平成29年度予算の重点施策の概要であります。

最後に予算規模につきましては、

一般会計は、	837 億 8,200 万円であり、前年度当初予算対比	0.1%の増、
特別会計は合計で、	544 億 9,539 万 2 千円であり、前年度当初予算対比	5.2%の増、
企業会計は2会計で、	145 億 7,583 万 1 千円であり、前年度当初予算対比	3.9%の減、
全会計で	1,528 億 5,322 万 3 千円であり、前年度当初予算対比	1.4%の増

となっております。

各会計別の予算規模及び事業の詳細につきましては、お手元の資料をご覧ください。

なお、これらの予算案につきましては、3月1日招集予定の議会に提案し、ご審議いただくことになっております。